

シルバー 安全だより

第50号

平成27年1月1日

公益社団法人
日向市シルバー人材センター
安全・適正就業委員会

健康で明るく楽しく安全・適正就業を

明けまして、おめでとうございます。会員の皆様には健やかで清々しい新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。安全就業につきましては、ご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。年頭には皆んなで無事故を願ってスタートしますが、一年を通して見るとやはり事故は発生しております。昨年は物損3件傷害2件ありましたが一昨年より減少して来ました。これも会員の皆様の事故防止対策についての知恵と工夫のお陰だと思えます。しかし飽くまでも目標は事故ゼロであります。安全・適正就業の理念に基づいて就業し目標達成に努めましょう。これからも本格的な寒さがやってきます。作業は大変です。特に屋外での作業は体の動きが鈍くなりがちです。寒さ対策と体調管理には十分留意しましょう。発注者に喜ばれる仕事が一番です。



委員長
河野政和

血管の若さを保つ ~動脈硬化の怖さを知って今日から改善~

血管の若さとは「弾力性がある必要血液をスムーズに送れる状態」のこと。すなわち、その状態を妨げる「動脈硬化」の予防こそが『血管の若さ』を保つことになります。動脈硬化は、加齢とともに誰でも進行しますが、生活習慣によって個人差があります。特に、肥満、高血圧、脂質異常症などの異常があればより早く進行します。そして、血管の若さを維持するには、食事、運動、喫煙、睡眠などの生活習慣の改善が必要です。バランスの良い食事、塩分やコレステロールの多い食品などを摂り過ぎないことが大切です。

日頃から食生活を見直し、なるべく運動をする習慣を身に付け、生活習慣病の予防・改善を行い、また、インフルエンザなどにも気を付けて明るく元気に就業しましょう。

『1年の計は元旦にあり』ということわざがありますが、どうか今年は無事故ゼロの目標をかかげて安全就業に努めてください。

安全標語・川柳入選 おめでとうございます

※優秀作品は会報「シルバー日向岬」P7にてご紹介しております。

福田チエ子さん
『確認は 全ての無事故に通じてる
しっかり守って 安全就業』

矢村 武子さん
『電話鳴る シルバーだよと 孫の声』

最優秀賞

安全標語の部

川柳の部

《物損事故》

発生日時	就業中	場所	原因
H26.6.30(月) 午前9時45分	男 75	市道	草刈作業中、石をはね、通行中の軽トラのフロントガラスに当たり傷を付けた。
H26.7.25(金) 午前8時	男 78	市道	草刈作業中、石をはね、通行中の乗用車のボディに当たり傷を付けた。
H26.8.27(水) 午後2時30分	男 65	市営住宅	草刈作業中、石をはね駐車中の車の後部左側サイドガラスを破損した。

《傷害事故》

発生日時	就業中	場所	原因
H26.8.12(火) 午前9時30分	女 71	美々津駐車場	勢定片付け作業中、植込みに手を入れたところ蜂にさされた。
H26.9.3(水) 午後2時	男 62	細島	草刈作業中に自分の刈払機で針金をはじめてしまい、左足ふくらはぎに刺さった。

平成26年12月末日 現在

安全パトロール 8/1(金)・9/3(水)・10/17(金)・11/5(水)・12/2(火)実施する



安全就業推進員
大田 寛

安全・適正就業委員会では、今年度も毎月1回安全パトロールを実施し、事故ゼロを目指して安全就業の周知活動を行ってまいりましたが、草刈作業時の石をはね事故は毎年あとをたないのが現状です。

昨年度は6件、今年度もすでに3件発生しております。状況は、通行中及び駐車中の車の窓ガラス破損がほとんどです。

原因としては、防護対策の不備、ミーティング時の徹底不足、就業場所及び周囲の安全確認不足、車の移動依頼を怠った等が考えられます。

今後、同じ事故を繰り返さない為に会員一人ひとりが自分のこととして考え、行動することが大事だと思います。

安全パトロール後には、「安全パトロール便」が毎月発行されます。ミーティング時に活用してください。センターの安全就業についての新しい情報が満載です。

新年からは、自己管理を徹底し、チームワーク良く明るく楽しく、『仕事にかかれば真剣勝負!』をモットーに会員一丸となって事故ゼロを目指しましょう。



パトロール前の打ち合わせ



現場移動にも気をつけて



安全3則の唱和!



共働・共助で!

それいけ!!
シルバーマン



安全就業には会員自らの意欲が大切



副理事長
尾崎光一

安全とは、本来「人から言われたから気をつける」といった性格のものではありません。人間が生活するうえで出会う様々な局面において、「こんなときはどうしたらよいのか」を考え、その結果を自主的・積極的に実行すること。問題を見つけるためには「このままでいいのだろうか」という見方(問題意識)をもって物事を見つめることが大切です。「これでいいんだ」と決め込んでいたのでは問題が視野に入ってきませんし、状況は何も改善されません。つまり、この「自己啓発」を支えるものは意欲(やる気)ですが、この意欲を他者から与えられるものではなく、あくまでも会員一人ひとりの内部から起こってくるものだといえます。

就業中に発生する事故のほとんどは、今までに発生したことのあるもの、言い換えれば防止することが可能な在来型のもので、このような事故が繰り返されているということは、事故要因が何ら反省もなく放置されているからです。そこで、これらをカバーするために「相互確認」(お互いに注意し合う)することが大切だと思います。この相互確認に求められるものは、不安定な行動を見つけたらさかさず注意する勇気(不安定な行動を発見した方)と、注意を受けたらただちにそれを受け入れて不安定な行動を直すという謙虚さ(注意を受けた方)ですが、これは会員相互の人間関係に依存する部分が大きいので、まず作業グループ内でリーダーに率先して実施してもらい必要があるでしょう。

明るく楽しく就業するためにも安全について一人ひとり関心を高めていただきたいものです。

